


整理番号	HT29335	分野	医歯薬学	キーワード	医学研究
------	---------	----	------	-------	------

研究機関名	久留米大学				
プログラム名	心臓病研究の最前線、自分の心臓を見てみよう！				
先生(代表者)	青木浩樹(あおきひろき)循環器病研究所・教授				
自己紹介	<p>私たちは、心臓や血管の病気が起こる仕組みを研究し、より良い診断や治療を見つけるための研究に取り組んでいます。そして研究を進めると、病気の仕組みが分かるだけでなく、心臓そのものの巧妙な仕組みが分かります。</p> <p>そんな生きた心臓を見たいと思いませんか？このプログラムで命の不思議を感じてもらえれば嬉しく思います。</p>				
開催日時・募集対象	平成29年7月30日(日)	受講対象者	高校生	募集人数	
集合場所・時間	久留米大学病院	(集合時間)	午前9時		
開催会場	久留米大学循環器病研究所および大学病院 住所: 〒830-0011 久留米市旭町67番地 アクセスマップ URL: http://www.kurume-u.ac.jp/soshiki/3/access.html				
内 容					
<p>プログラムの最初に研究の重要性、科学研究費の仕組みと意義を解説します。高校までに学習する心臓の仕組みを復習した上で、心臓病研究では超音波と顕微鏡を使って「目に見えないものを見る」ことを解説を交えながら実習することで体感して頂きます。</p> <p>理解を深めるために、心臓の粘土模型を作成して立体的な構造を理解します。次に、超音波診断装置で不透明な物の内部を観察します。そして、久留米大学病院で超音波診断装置を使い、参加者自身の心臓が立体的にどんな形をしているかを、粘土模型と比べながら観察します。そして、その心臓がどのように動き血液を送り出しているかを観察します。</p> <p>肉眼では見えない微細な構造を観察する方法として、マウスの心臓組織染色を顕微鏡で観察します。正常の心臓と梗塞を起こした心臓を染色し比較観察することで、病気の成り立ちを解析する方法を理解してもらいます。自分の心臓とマウスの心臓の仕組みが全く同じであることを体感します。</p> <p>実験や診療で用いる機器を自らの手で操作することにより、医学・医療への興味を引きだします。また、現役医師・研究者・医学部学生と一緒に実験・実習することで、知的好奇心を刺激し、キャリア意識を高めて頂くことを期待しています。</p>					
スケジュール					持 ち 物
9:00 - 9:30 受付(久留米大学病院本館第1会議室)					筆記用具
9:30 - 10:00 開講式(あいさつ、科研費の紹介、オリエンテーションと心臓病研究の紹介)					
10:00 - 10:30 講義と観察実習「人間の心臓」					特 記 事 項
10:30 - 11:00 講義と観察実習「マウスの心臓」→移動					
11:15 - 13:00 体験実習「マウス心臓組織の染色と観察」					
13:00 - 14:00 昼食(現役医師・研究者・医学生との交流)→移動					
14:15 - 15:30 体験実習「人間(受講者)の心臓エコー検査」→移動					
15:45 - 16:30 クッキータイムとディスカッション					
16:30 - 16:45 アンケート記入、修了式、「未来博士号」授与式					
16:45 解散					

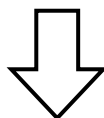
《お問合せ・お申込先》

所属・氏名：	久留米大学／青木浩樹(あおきひろき)
住所：	〒830-0011 久留米市旭町67番地
TEL 番号：	0942-31-7580
FAX 番号：	0942-31-7707
E-mail：	haoki@med.kurume-u.ac.jp
申込締切日：	平成29年7月1日(土)

※当プログラムは先着順にて受付を行います。

《プログラムと関係する先生（代表者）の科研費》

研究代表者	研究期間	研究種目	課題番号	研究課題名
青木浩樹	H.28 - H.30	基盤研究(B)	16H05428	大動脈解離の革新的な治療法開発:mTOR経路を標的とした病態制御戦略



★この科研費について、さらに詳しく知りたい方は、下記をクリック！

<http://kaken.nii.ac.jp/>

※国立情報学研究所の科研費データベースへリンクします。